

令和5年度

# 赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和6年2月11日(月)

校長 高橋 励

Dear Student(\*^\_^\*)

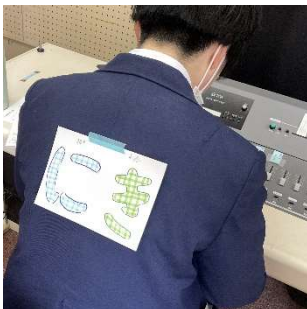
たの かた さいじょうきゅうせい  
“楽しみ方”も最上級生!

せいとかいほんぶきかく がっこう  
生徒会本部企画「学校レク」

3月6日(水)に行われた「学校レク」の趣旨は“クラス・学年を超えて、全校生徒の親睦を深めるとともに、「来るのが楽しい」と思える学校作りに貢献する”。本部役員さんの想いとしては3年生がいてこそこの「全校生徒」だったのでしょね。もしかしたら「あとは任せてください!」という想いもあるのかなあ、と閉会式のステージを眺めながら考えていた校長です。



ところで、この閉会式での3年生、楽しみ方や盛り上げ方も上手でしたね。会を進行する司会や場の雰囲気への気配りが感じられる“ステキなフォロアー”としての姿がありました。



また、左の写真は放送開会式の舞台裏。本部役員の姿に「来るのが楽しい」と思える学校作りに向けて一生懸命がむしゃらに何ができるか挑戦しようとする意気込みを感じました。わずか50分でしたが上手に使ってよい時間を作ってくれました。お疲れさまでした!

## 赤羽根中 生徒の活動の記録

全校生徒の前での表彰伝達の機会が持てませんのでここで紹介させていただきます。

茅ヶ崎市人権擁護委員会

中学校人権作文コンテスト

銀賞 3年生

この受賞に伴って、2月22日(木)に茅ヶ崎市市長との人権座談会にも参加しました。

独立行政法人国立科学博物館主催

第40回植物画コンクール

中学生・高校生の部 作品名 ケシ

準佳作 3年生

受賞した作品は次の会場で一般展示されます(詳細は展示会案内のHPをどうぞ)

国立科学博物館 上野本館

2024年7月2日~7月21日

国立科学博物館 附属自然教育園

2024年9月下旬~11月下旬(予定)

~保護者の皆様へ~  
義務教育9年間の集大成!

明日は、第38回卒業証書授与式です

感染症への対応に備え、密を避けた会場設営をしていることから、今年度も在校生は代表生徒のみの参列としていますので、各ご家庭でもご承知おきください。

ねんせい ざいこうせい つた がくねんだいひょう はなし  
3年生として“在校生に伝えたいこと” 学年代表の話より



ほんとう すがた  
本当のかっこいい姿はね…

いろ いっしょく だ ほ  
それぞれの色を一色ずつ出して欲しいな

“やっぱ越えられないや”って言ってやめちゃだめなんですよ、みなさん

予行のあとの体育館で語られた3年生からの置き土産。味わい深かったので残してみました。

「…昨日の、全校レクみたい、楽しいことだけをワイワイやっているのは“本当のかっこいい姿”ではないということです。“本当のかっこいい姿”は、昨日の全校レクみたい、盛り上がる時は最高に楽しんで盛り上がって、こういうちゃんとした場面でも、しっかりとメリハリをつけてできるっていうのが“かっこいい姿”だと思ってます。なので、1、2年生も皆さんも、それぞれの学年にあった“かっこいい姿”に近づけるように頑張ってください。」

「…うちの学年は昨日もフェスで、最後生徒会さんのバンドも来て、旧生徒会の青木さんが出て盛り上がったのも、うちの学年にはうちの色が合って、神崎先生を中心とした個性豊かな先生方と、小学校の時からすごい、いろんな人たちが集まっている学年が、集まって、ちょっと、うちの学年には芸人がいっぱいいたり、真面目にまとめてくれる子がいたり、それに乗ってくれる子がいたり、ということで、すごく盛り上がってきました。だからこそ、昨日もああやってフェスで盛り上がられたし、

こういうときにしっかり真面目にできるんだなってところは、それぞれ中心になる人物が変わってきてるので、やっぱ、1、2年生にも、それぞれ、あると思うんですね。学級委員さんを中心とした色とか、先生方の色とか、そういうのを一色ずつ出して欲しいな、というのと、3年生は、神崎先生を中心として、「1、2年生に絶望を与えよう」と言ってきました。「3年生ってやっぱすごいんだな」って、「越えられないんだな」っていうのを見せようっていうことで予行練習、頑張ってやってきました。で、その中で、“やっぱ越えられないや”って言ってやめちゃだめなんですよ、みなさん。やめてほしくてすることじゃなくて、やめずに、来年以降、特に2年生はこの卒業式の予行を、また来年後輩に見せるときに、越えられるぐらいの努力をしてください。“努力しろ”って言い方して、あんまよくないと思うんですけど、がんばってください。1年生は、今いる2年生、3年生をさらに越えて、例えば、こんどね、高校生の先輩達が先生の顔とか見に来たときに、あ、この1、2年生すごいな、と思ってもらえるぐらい、がんばってください。……」